

「新川崎・創造のもりの機能更新に関する基本的な考え方（案）」に関する
パブリックコメントの実施結果について

1 概要

本市では、新川崎・創造のもり地区を次の 100 年を見据えた我が国の成長をけん引する拠点へと成長、発展させる機能更新等に向けて、令和 5 年 8 月に本市と慶應義塾が締結した協力・連携協定をもとに、施設整備も含めた機能導入について幅広く検討を行ってまいりました。

こうした検討結果を踏まえ、「新川崎・創造のもりの機能更新に関する基本的な考え方（案）」を取りまとめ、広く市民の皆様から御意見を募集するため、パブリックコメントを実施しました。

その結果、パブリックコメント手続きでは、87 通（269 件）の御意見をいただきましたので、御意見等の内容とそれに対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

題 名	新川崎・創造のもりの機能更新に関する基本的な考え方 ～新川崎・創造のもりを核とした「量子イノベーションパーク」の実現に向けて～（案）への意見を募集します
意見の募集期間	令和 6 年 1 月 2 9 日（月）から令和 6 年 2 月 2 7 日（火）まで
意見の提出方法	電子メール（専用フォーム）、FAX、郵送、持参
募集の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ ・かわさき情報プラザ（市役所本庁舎 2 階） ・各区役所・支所及び出張所の閲覧コーナー、各市民館、各図書館 ・市政だより（2 月 1 日号） ・経済労働局イノベーション推進部（市役所本庁舎 9 階）
結果の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ ・かわさき情報プラザ（市役所本庁舎 2 階） ・各区役所・支所及び出張所の閲覧コーナー、各市民館、各図書館 ・経済労働局イノベーション推進部（市役所本庁舎 9 階）

3 結果の概要

意見提出数（意見総数）		87 通	（269 件）
内訳	電子メール	77 通	（252 件）
	F A X	0 通	（ 0 件）
	郵送	0 通	（ 0 件）
	持参	10 通	（ 17 件）

4 意見の内容と対応

今回のパブリックコメントの手続きでは、量子イノベーションパークの実現に向けた取組の推進を求める意見や、国内外から優れた人材を呼び込むための機能に関する意見、市民に開かれた空間形成、誰もが気軽に利用できる商業機能の導入等に関する要望などが寄せられました。

寄せられた御意見を踏まえ、必要な修正を加えた上で、「新川崎・創造のもりの機能更新に関する基本的な考え方」を策定いたしました。

【意見に対する対応区分】

A：御意見を踏まえ、案に反映したもの

B：御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見の趣旨を踏まえ、取組を推進するもの

C：今後の取組を進めていく上で参考とするもの

D：案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの

E：その他

【意見の件数と対応区分】

項目	A	B	C	D	E	計
(1) 基本的な考え方全般に関すること		38	19	6		63
(2) 量子イノベーションパークに関すること		28	16	5		49
(3) 機能導入に関すること		27	64	23		114
(4) 土地利用の方向性に関すること	1	3	30	2		36
(5) 事業手法に関すること			1	2		3
(6) その他					4	4
合計	1	96	130	38	4	269

5 具体的な意見の内容と市の考え方

(1) 基本的な考え方全般に関すること (63件)

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	<p>計画の方向性について賛同する。本事業は先進的な取組であり、積極的に進めていただきたい。</p> <p>(同趣旨他29件)</p>	<p>新川崎・創造のもりを、量子技術を核とした世界最高水準の研究開発拠点へと更に成長、発展させる機能更新に向けて、基本的な考え方に基づき、慶應義塾をはじめとする関係者と連携・協力しながら、着実な事業推進を目指します。</p>	B
2	<p>新川崎・創造のもり周辺はもとより、市内には、殿町地区や南渡田、KSP、研究開発型の大企業も集積しており、このような地の利を活かし、連携して取り組むことで大きな力を発揮することができる。</p> <p>(同趣旨他9件)</p>	<p>本市には、殿町キングスカイフロントや南渡田地区等の研究開発拠点、研究開発型の産業集積の特徴があることから、こうした強みを活かして、市内に立地する大企業やスタートアップ、大学、研究機関など多様な主体による連携を促進し、新川崎・創造のもりのイノベーション拠点としての機能強化に向けた取組を進めてまいります。</p>	C
3	<p>新川崎地区が知的創造の発信場所となり、様々なイノベーションが生まれる拠点となることを期待する。</p> <p>(同趣旨他4件)</p>	<p>新川崎・創造のもりにおいて、慶應義塾大学を中心に、多様な分野、ステージの研究開発が行われ、次々とイノベーションが生み出されるような学際的、発展性のある拠点となるよう機能更新の取組を進めてまいります。</p>	B
4	<p>市内には、高等教育機関が不足していることから、新川崎では慶應義塾がイニシアチブを発揮して、慶應義塾を核とした拠点づくりに賛同する。</p> <p>(同趣旨他2件)</p>	<p>研究開発の促進やオープンイノベーションの活性化、次世代人材の育成等において、大学の果たす役割が重要となることから、慶應義塾を中心に多様な大学や研究機関との連携を図りながら、新川崎・創造のもりの機能更新に取り組んでまいります。</p>	B
5	<p>量子イノベーションを市全体としてどのように捉え、どう活用していくのか、社会課題の解決にむけ、この拠点が果たす役割や、社会として量子技術をどのように活用していくのか。ミッション・ビジョン・バリュー・パーパスのような軸をもって進めてもらいたい。</p>	<p>基本的な考え方案「2-1 川崎市が目指す量子イノベーションパークの推進」にあるとおり、量子イノベーションパークとは、新川崎・創造のもりを中核とする市内全域において、量子技術を核としたイノベーションの創出に向けた様々な取組が、多様なプレイヤーによっ</p>	D

	(同趣旨他 1 件)	<p>て展開されることを目指すものです。</p> <p>基本的な考え方をもとに、量子技術に関連する産学官の関係者と幅広く意見交換を行いながら、量子イノベーションパークの実現に向けて、着実な事業推進に取り組んでまいります。</p>	
6	<p>世界最先端の競争(研究開発・社会実装)の成果を出すにはどこかに注力しなければ成果は出ない。成果が出ることで、雇用、にぎわい、次世代人材などが集積する。集中と選択を持って取組を進めてほしい。詰め込み過ぎな感じも見受けられる。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、本市が目指す量子イノベーションパークの実現と慶應義塾が目指す世界的な研究開発拠点の形成に向けて必要と考えられる機能を6点に整理しております。今後の基本計画策定に向けて、より具体的に検討を進め、所要の規模や配置、事業手法等について取りまとめてまいります。</p>	C
7	<p>新川崎・創造のもり地区は、安定した企業が集まる場所に留めるのではなく、たとえ不安定だとしても、新たな技術や産業が次々と生み出される活気のある場所と位置づけ、5年程度の比較的短期間の入居後は、市内の別の場所への移転を促し、退去により空いた部屋には次の世代の新たなスタートアップに入居いただく、という好循環を生み出すことが、市内全体の産業活性化のためには望ましく、インキュベーション事業を拡張してはどうか。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、研究の加速化・実用化の視点から、大企業や中小企業、スタートアップ、大学など多様な主体が集い、連携しやすい研究スペースを導入することが必要と考えております。先端的な研究開発成果の社会実装には、スタートアップの役割が重要であることから、スタートアップが入居するスペースの拡張に向けて検討してまいります。</p>	D
8	<p>特定分野の研究開発に特化するよりも、幅広い分野の研究開発を受け入れるほうがよい。世の中から科学技術に求められる課題は時代に応じて変化しており、社会経済状況は見通しがつきにくいことから、変化に柔軟に対応できることも重要だと考える。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>	<p>新川崎・創造のもりの機能更新に向けては、核となる量子技術に加え、AI・Beyond 5G等の最先端のコンピューティング技術や、その基盤となる半導体等の最先端テクノロジーの集積地を目指すと同時に、ソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ分野など関連産業の早期の社会実装化を意識した拠点形成に向けた視点も有しております。</p> <p>また、「2-4 世界的な研究開発拠点に向けた機能更新の視点」にあるとお</p>	D

		り、機能更新に当たっては、研究開発の進展、将来性を見越した拡張性、柔軟性を有する研究環境の構築に取り組んでまいります。	
9	イノベーション拠点を形成するために、できるだけ規制や手間を減らしてほしい。	新川崎・創造のもりを、世界最先端の研究開発拠点、オープンイノベーション拠点として成長、発展させるため、良好な研究環境機能の整備に加えて、国内外の優れた研究者を惹きつけ、集積させる先端的で魅力ある研究開発プロジェクトの誘導や、研究者等が研究活動に専念できる環境づくりについて検討してまいります。	C
10	新川崎・創造のもりはグリーントランスフォーメーションなイメージを大切にされているので、このコンセプトは踏襲された方が良い。	新川崎・創造のもりにおいては、ナノマイクロ技術を活用した、環境・エネルギー分野等の研究開発を行うスタートアップが数多く入居しています。また、量子コンピューターは既存のスーパーコンピューターと比べて電力消費が極めて少ないことが知られているほか、さらにエネルギー分野などへの応用も期待されることから、グリーントランスフォーメーションに貢献する量子コンピューティング技術の社会実装に取り組んでまいります。	C
11	検討主体として市と慶應義塾大学のみでよいのか。イノベーション創出に向けてはスタートアップやベンチャーキャピタル等との協議・検討が必須になる。	基本的な考え方案「5 新川崎・創造のもりの機能更新の検討方針・検討体制」にあるとおり、基本的な考え方案の検討段階において、慶應義塾大学以外にも、国や新川崎・創造のもり計画の推進に関わる大学等の有識者、新川崎地区及び周辺の大企業やスタートアップ等への意見聴取を行いながら、検討結果を取りまとめてまいりました。 今後につきましても、その後の事業推進に向けて、多様なステークホルダーと意見交換を行いながら、検討を進めてまいります。	C
12	教育施設とイノベーションハブは区別	中長期的な視点でのイノベーション	C

	して議論すべき。	の創出に向けては、次世代人材の育成による、将来の担い手の確保が重要であることから、先進企業や大学が集積する良好な研究開発機能と、次代を担う子どもたちが科学技術を学び、体験する場など、多世代の人材を育成する機能の両方の視点が重要であると考えています。	
13	人材育成の取組において「ダイバーシティ」をより意識した活動を行っていることを明確にされるべき。日本は大学など高等教育機関の卒業・修了生に占める女性の割合が世界的に見ても低く、市が開催する科学体験、アントレプレナーシップ、量子人材育成のプログラムにおいては数字目標を設定し、モニタリングすることが重要。	人材育成の取組をはじめ、本事業の取組を推進していく中では、多様性を踏まえた取組を推進してまいります。	C
14	推進にあたっては、全てをゼロから作るのは難しいため、既存のエコシステムを参考にすることや、既存のエコシステムの誘致を行うことで、スピーディに進めることも必要。	取組の推進にあたっては、国内外の先進的な研究開発拠点、オープンイノベーション拠点の事例も参考にしながら、新川崎・創造のもりを中核として多種多様なプレイヤーが参画できるエコシステムの構築を目指してまいります。	C
15	次世代人材育成の取組についても参加者数など具体的な数字を毎年きちんと報告する形としたほうが良い。成果だけでなく将来目標の数値化もされるほうがアカウンタビリティの観点で重要。	基本的な考え方案「1-3(4)次世代人材育成の取組」にあるとおり、各プログラムの直近の参加者数の記載をしております。 また、数値目標の設定については、今後検討してまいります。	C

(2) 量子イノベーションパークに関すること (49件)

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	<p>「量子イノベーションパーク」について、地方自治体が最先端の科学技術研究開発に野心的に取り組む構想で、賛同する。検討の方針に沿って進めていただきたい。 (同趣旨他7件)</p>	<p>新川崎・創造のもりにおいては、アジア初のゲート型商用量子コンピューターの実機設置や半導体関連の先端企業の集積等があり、こうした特徴を活かして、世界の量子イノベーションを先導する</p>	B
2	<p>量子コンピューターの拠点として、国内には他に例がない取組となるので、世界をけん引する拠点になってもらいたい。 (同趣旨他5件)</p>	<p>多様な研究・実証・教育プロジェクトが市内全域で展開される「量子イノベーションパーク」の実現をめざしてまいります。この取組の中核となる同地区の機能更新に向けて、慶應義塾をはじめとする産学官の関係機関と連携して取り組んでまいります。</p>	B
3	<p>量子コンピューターの研究が進み、実用化できるまでどのくらいのハードルがあるのか、また、どういったイノベーションが起きるのか想像が追いついていない。市内企業に認識させるための交流促進が必要と考える。 (同趣旨他2件)</p>	<p>量子コンピューターの実用化までには解決すべき課題が多くあると言われておりますが、こうした先端技術分野では日進月歩で研究開発が進展しておりますので、先端的な科学技術・研究活動の見える化等、市民等に伝わる情報発信に取り組んでまいります。</p> <p>また、量子イノベーションパークの実現に向けて、量子と古典の融合技術やソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ等の分野など関連産業の社会実装を意識した拠点の形成に取り組むとともに、市内企業との連携促進にもつながるオープンイノベーションを活性化させる交流・コミュニティ機能の導入を図ってまいります。</p>	D
4	<p>量子コンピューターを題材に産業振興を図る取り組みは海外でも色々ある。それらライバルとどう差別化していくか。 (同趣旨他1件)</p>	<p>量子コンピューティング技術は世界各国で開発競争が行われておりますが、新川崎・創造のもりには、世界最高水準の量子コンピューターの実機の設置や先端半導体企業の集積、慶應義塾大学での最先端の研究開発の取組などがあります。また、市内には量子技術の研究開発を行う大企業や量子コンピューターの部材を供給する企業も立地しています。</p>	C

		こうした特徴・強みを活かして、それぞれが連携・影響を及ぼすことで相乗効果を発揮し、世界の量子イノベーションを先導するエコシステムの構築に向けて取り組んでまいります。	
5	人工知能やその他の技術がそうであったように、量子技術も真に社会に普及するまでには、まだ時間がかかり、何度か研究開発の冬の時代が来ることも十分考えられる。そうしたときに、適正規模で、長期にわたり、持続的に辛抱強く、しかし自由闊達な雰囲気は失わずに研究を続けることが、将来の真の競争力につながると確信している。新川崎地区のボトムアップ的な取組は、そのようなポテンシャルを十分持っていると考えており、例え現在の量子技術の流行が少し収まったとしても、ぜひ、自由な創造力を持ち、国のトップダウン拠点とは異なる色を持った世界的な量子技術研究拠点として、持続的に発展することを強く願っている。 (同趣旨他1件)	量子コンピューターの実用化に向けて、量子技術の早期の社会実装に向けた取組を推進すると同時に、量子技術に関連する産業の社会実装化を目指しながら、多様なプレイヤーによって様々な分野、ステージの研究開発が行われるよう、持続性・発展性・柔軟性のある拠点を目指してまいります。	C
6	連携先大学については慶應義塾大学のみを念頭に置くのではなく、東大・東工大・横国大といった他大学、NII・理研・NICTといった国研との連携も検討して欲しい。量子イノベーションには多分野・多彩な専門性が必要であり、これには多岐にわたる組織の協力が必要である。 (同趣旨他1件)	新川崎・創造のもりの機能更新においては、慶應義塾大学に加え、多様な大学や企業、研究機関が集い、連携を促進する拠点形成を目指しています。そのため、先端企業・大学等が集積し、研究開発を加速する良好な研究環境を構築するとともに、オープンイノベーションを活性化する交流・コミュニティ機能の充実にに向けて取り組んでまいります。	D
7	量子関連の企業・大学とスタートアップが互いの強みを生かし、相互に連携することにより、ビジネス開拓の可能性やユースケースの探索などを行うことが必要と考える。 (同趣旨他1件)	基本的な考え方案「2-1 川崎市が目指す量子イノベーションパークの推進」にあるとおり、量子イノベーションパークでは、産学官の多様なプレイヤーが、それぞれの強みを活かして連携を図りながら、量子コンピューターの実機開発や、ソフトウェア、量子通信等の関連技術、量子コンピューティングの周辺機	B

		器等の開発を目指すプロジェクト、量子コンピューターを活用し、企業間連携を通じた創薬や素材開発、金融、モビリティ等の分野での実用化を目指すプロジェクト等が展開される姿を目指しており、これらの実現に向けて取組を進めてまいります。	
8	<p>川崎市は特にものづくり・加工を請け負う企業が非常に多いため、市内企業が持つ特異なものづくり技術が有効に働けば良い。</p> <p>それについては、イノベーションを起こすための仕掛け・集いなどが必要になって来るかと思えます。</p>	<p>基本的な考え方案「2-2 新川崎・創造のもりにおける量子イノベーションパーク実現に向けた視点」にあるとおり、量子イノベーションパークの実現に向けて、量子と古典の融合技術やソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ分野など関連産業の早期の社会実装化を意識した拠点の形成に向けて取り組むことから、市内のものづくり企業が有する技術など幅広い産業との連携が重要と考えております。</p> <p>また、オープンイノベーションの活性化に向けて、企業、大学、研究機関など多種多様なプレイヤーが集い、異分野の研究者・技術者が交流し、アイデアをぶつけあい、イノベーションが生み出される交流・コミュニティ環境の構築に向けて取り組んでまいります。</p>	C
9	<p>量子イノベーションパークの形成により、つくば学園都市のような研究開発都市としての機能が充実することを期待する。</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、良好な研究環境をはじめとする6つの機能を整理しております。</p> <p>これらの機能を効果的に導入するとともに、研究開発型企業が多数集積する本市の特徴を活かし、研究成果が早期の社会実装につながる世界最高水準の研究開発拠点となるよう取り組んでまいります。</p>	B
10	<p>量子技術エンジニアが将来的にも安心して働ける雇用先を量子イノベーションパーク内で整えてもらいたい。1社に留ま</p>	<p>量子技術やAI、先端半導体等の研究開発を行うためには、世界トップレベルの人材（研究者・技術者）の誘引が不可欠</p>	C

	<p>らず、様々な企業での雇用の流動性を行う事で、多様な経験を積む事ができ、将来的にも安心して働く事ができるのではないか。その為にも、量子技術エンジニアの情報を取りまとめる機関もしくは企業が必要。</p>	<p>であることから、国内外から高度人材を呼び込む拠点の形成を目指しています。研究者・技術者が安心して業務に専念できる環境の構築に向けて、検討してまいります。</p>	
11	<p>量子技術の研究開発拠点ということでは、内閣府主導で決められた11の大学・国研が量子技術イノベーション拠点(QIH)とされているが、ぜひ、それとは異なる役割と特長を前面に出していただきたい。ひとつは、既に述べられていることではあるが、いわゆる水飲み場的な役割かと考える。他の大学や国研にも広く扉を開いていただき、様々な人々がボトムアップ的に集うような環境にしていきたい。</p>	<p>本市が目指す量子イノベーションパークにおいては、産学官の多様なプレイヤーがそれぞれの強みを活かして連携を図りながら研究開発、実証、教育等のプロジェクトを推進していきたいと考えています。</p> <p>慶應義塾大学をはじめ、多様な大学や国立研究開発法人等の参画を促し、イノベーションが生み出される環境の構築に向けて取組を推進してまいります。</p>	C
12	<p>限定的に量子に限るのではなく、これからの川崎の100年を支える力となる先端技術(IOT、ライフサイエンス、エネルギー、カーボンニュートラル等…これらも量子通信技術と融合する可能性が高い)も当然対象とすべきであり、新しい異業種交流が進む場とすべきである。</p>	<p>新川崎・創造のもりの機能更新においては、核となる量子技術に加え、AI・Beyond 5G等の最先端コンピューティング技術とその基盤となる半導体等の最先端テクノロジーの集積地を目指しておりますが、こうした技術を活かして、ライフサイエンスやエネルギー、カーボンニュートラルといった幅広い分野への応用が考えられます。</p> <p>量子技術を核として多様な分野との異業種交流を生み出し、オープンイノベーションを推進してまいります。</p>	B
13	<p>産学官といったプレイヤーだけでなく、生活を豊かにサポートする地域・生活機能までも一丸となった連携が必要。質の高い教育や研究開発環境は勿論のこと、下支えとなる衣食住、特に知能に対して多大な影響を及ぼす食までもが重要。</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」のとおり、先端的な魅力のある研究開発プロジェクトに加えて、研究者とその家族が、研究と生活に快適に対応できる環境が必要と考えております。国内外の研究者・技術者等の滞在環境、サポート環境について検討してまいります。</p>	B
14	<p>量子イノベーションをテーマとされた</p>	<p>量子イノベーションパークの実現に</p>	B

	<p>ことは、これからの技術革新の象徴的なものとして良い選択だと思う。自社でどのように参画できるか考えていきたい。</p>	<p>向けて、スタートアップや大企業、中小企業、大学、研究機関など多種多様なプレイヤーが積極的に集い、交流し、アイデアをぶつけ合うことでイノベーションが生み出されることを期待しています。</p>	
15	<p>より身近に量子コンピューターの恩恵を感じることができるアイデアとしては、例えば、金融世界の動きや、災害シミュレーション、生体構造等で量子コンピューターを利用したデータ解析などのイベントがあれば、周辺住民も興味をより持てるのではないかと企業、住民に寄り添ったイベントを期待する。</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にある通り、量子コンピューター等の研究成果を来訪者に分かりやすく紹介するショーケース機能など市民や地域に開かれた環境の整備に向けた検討を進めてまいります。また、量子技術等を活用して市域の社会課題等の解決に貢献するプロジェクトを創出するなど、量子コンピューター研究成果が実感できるような取組と見える化を図ってまいります。</p>	C
16	<p>量子コンピューティング関連企業の集積／ビジネスマッチングとともに、実証実験フィールド機能を確立することにより、活用性がより高まっていく可能性がある。</p>	<p>量子イノベーションパークの実現に向けては、関連企業の集積や量子技術の研究開発の促進に加え、市域の社会課題や行政課題の解決に量子技術を活用する実証フィールドの提供についても取り組んでまいります。</p>	B
17	<p>社会課題の解決を挙げている点に共感する。社会課題の解決については、例えば道路の渋滞一つとっても、原因と結果が単純ではなく、様々な複雑な要素が絡んでいるものと想像されるため、量子コンピューターの持つ力を活用することは、有意義であると感じる。</p>	<p>量子イノベーションパークの実現に向けては、関連企業の集積や量子技術の研究開発の促進に加え、量子コンピューターを活用し、企業間連携を通じた創薬や素材開発、金融、モビリティ等の分野での実用化を目指すプロジェクトの創出にも取り組んでまいります。</p>	B
18	<p>「量子イノベーションパーク構想」は、ものづくりだけでなく、「ことづくり」に関する研究も構想に加えてもらいたい。 (一番のお金に繋がるサービス分野への研究や投資)</p>	<p>また、核となる量子技術に加えて、AI、Beyond 5G 等の最先端コンピューティング技術やその基盤となる半導体技術、また、量子と古典の融合技術やソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ分野などの関連する産業の早期社会実装につながる研究開発も重要であると考えています。</p>	B
19	<p>量子コンピューターという新技術の持つ幅広い影響側面も、ぜひ考慮に入れていただきたい。すなわち、新素材、高性能部</p>		B

	品、超精密加工装置や、それらの集合である半導体技術、さらにアルゴリズムやユーザーインターフェース、回路設計技術や、それらの開発環境を支えるクラウド技術など、量子コンピューターを取り巻く新技術が、既存のスーパーコンピューターやモバイル端末、そしてその上で走る AI サービスの改善と発展に直接的につながっている。		
20	量子コンピューターの実機がありながら、一般人からするとなかなか縁が遠い領域で、周辺企業、周辺住民に恩恵がなかなか伝わってこない。	基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、研究成果を来訪者に分かりやすく紹介するショーケース機能など、日常の研究活動を見える化する工夫を行い、市民や地域に開かれ、子どもたちの科学技術への夢を育む環境の整備に取り組んでまいります。 また、量子技術等の先端技術を活用して地域の課題解決につなげることにより、市民生活の利便性の向上等を実感できる成果の創出に向けて取り組んでまいります。	C
21	量子技術を活用したビジネスが広がっていく上では、人材不足が根本的な課題となっている。国策としてその課題は明確に認識され、量子コンピューティング人材育成の取り組みが各地でなされているので、その取り組みの中核地のハブの場として、量子イノベーションパークが位置づけられるといい。	国内における量子分野の人材は圧倒的に不足しており、人材育成が課題となっています。こうしたことから、本市においては、量子産業の将来の担い手である若年層を中心に量子技術の早期教育を行い、量子ネイティブ人材の育成に取り組んでまいります。	B
22	半導体と量子が連携できる研究環境は素晴らしいので、引き続き最新設備を整え続けて欲しい。	新川崎・創造のもりにおいては、20年超に渡る取組の中で、日本 IBM やレゾナック等、最先端コンピューティングをリードする大企業の中核研究拠点の立地や、4大学ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアムとの連携協力による最先端研究機器の企業への利用開放といった強みが蓄積されてきました。	B

		今後、我が国の成長をけん引する世界的な研究開発拠点へと更に成長、発展させるため、研究開発を加速する良好な研究環境機能を構築してまいります。	
23	量子計算機については、長期的には、量子人材の育成というのは重要な観点ではありますが、現状は、ハードウェアがまともに使えないような状況ですので、ユーザーを増やすというよりは、FTQCのハードウェアとハードを動かすためのソフトウェアの開発に最も注力すべき時期と認識している。外資系リーディング企業の誘致も大切と考えますが、長期的には、国外への技術流出や資金流出も考えられ、国内企業がトップレベルのハード、ソフトも開発できる状況が最も望ましいと考えられます。	基本的な考え方案「2-2 新川崎・創造のもりにおける量子イノベーションパーク実現に向けた視点」にあるとおり、量子コンピューターの実用化には長い期間を要すると見込まれていることから、量子と古典の融合技術やソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ分野など関連産業の早期の社会実装化を意識した拠点の形成に取り組んでまいります。 そのために、大学のほか、大企業、中小・スタートアップ企業など、様々な研究段階、規模、成長段階の企業等を受け入れられるバリエーションに富んだ面積のラボの整備を進め、国内外から優れた研究者・企業の集積を目指してまいります。	C
24	多様な量子ビット技術（超伝導・イオンなど）の異種間通信を可能としたい。インターネットは、インターネットを介してすべての技術がつながるプラットフォームになっている。すべての量子技術を接続するネット基盤を作るべき。他の量子ビット技術を扱う企業やプロジェクトの誘致も検討して欲しい。	量子イノベーションパークの実現に向けては、量子コンピューターだけではなく、量子インターネット通信等の量子技術についても重要な分野であると考えおります。研究開発を加速する良好な研究環境機能の強化や、国内外の優れた研究者や企業を惹きつけ集積させる、魅力ある大型プロジェクトや中核企業等の誘致に取り組んでまいります。	C
25	量子コンピューターの実装においては、現状では希釈冷却装置の利用が見込まれ、多大な電力消費に対しサステナブルなエネルギーマネジメントが求められる。川崎未来エナジーなど他の施策との連動も検討すべき。	量子コンピューターは、従来のコンピューター（古典コンピューター）と比べて電力消費が極めて小さいことが特徴ではありますが、研究者が研究に専念できる良好な研究環境を構築するため、電源など安定的で信頼性の高い研究・事業インフラの確保に努めてまいります。	C
26	当初、量子コンピューターが設置されると聞いた時にはよく話題にしていたが、実	川崎・創造のもりの機能更新において、量子コンピューター等の研究成果を	C

	<p>態がわからないまま尻すぼみになっている印象があるのが残念。</p>	<p>来訪者に分かりやすく紹介するショーケース機能など市民や地域に開かれた環境の整備に向けて検討しております。</p> <p>また、量子技術等の先端技術を活用した市域の社会課題の解決につながるプロジェクトを創出し、量子コンピューターの研究成果が実感できるような取組と成果の見える化を図り、身近に感じられるように周知を行ってまいります。</p>	
27	<p>「実現に向けた視点」に書かれた、核となる量子技術に加え、オープンかつグローバルな視点から企業の枠を超えて最先端テクノロジーを集積することは非常に重要である。具体的なテクノロジーを全方位的にするのではなく、特定のテクノロジー、「半導体」もしくは「AI」を中心とすることはいかがか。半導体は言わずもがな安全保障の観点から最重要な技術であるとともに複数の企業・大学等によるエコシステムによって成り立つという特性を持ち、今回の構想とも非常にマッチする。AIに関しては、昨今の生成 AI の発展で AI が人々の生活に便利かつ安全なツールとしていくためには、オープンで透明性の高いイノベーションが必要で、企業・スタートアップ・国が連携したエコシステムを通じて責任あるイノベーションが求められている。</p>	<p>量子イノベーションパークの実現に向けて、核となる量子技術に加えて、AI、Beyond 5 G 等の最先端コンピューティング技術やその基盤となる半導体技術、また、量子と古典の融合技術やソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ分野などの関連する産業の早期社会実装につながる研究開発も重要であると考えています。</p>	B
28	<p>「どのような方々を呼び込みたいのか・集めたいのか」具体的なイメージが湧かない。ペルソナを考えるアプローチも必要かと思う。</p>	<p>基本的な考え方案「2-2 新川崎・創造のもりにおける量子イノベーションパーク実現に向けた視点」にあるとおり、核となる量子技術に加え、AI・Beyond5G 等最先端のコンピューティング技術とその基盤となる半導体等の最先端テクノロジーの「知」と「人材」の集積を目指しており、世界トップレベルの人材（研究者・技術者）を国内外から呼び込むため、世界最高水準の国際的な研究開発拠点の形成に取り組んでま</p>	C

		います。	
29	次世代コンピューティング技術はイノベーションや社会創成において益々応用先が広がるので、予算をつけてほしい。	新川崎・創造のもりにおいて、量子技術をはじめ、AI・Beyond5G等最先端のコンピューティング技術とその基盤となる半導体等の最先端テクノロジーの「知」と「人材」の集積地を形成し、世界の量子イノベーションを先導するエコシステムの構築を目指してまいります。	C
30	量子コンピューターのネットワーク化は、デジタルコンピューターの限界を打破する量子コンピューターの発展のためにも、インターネットの限界を打破する量子インターネットのためにも必要となるが、それに気付いて施策を打っている拠点は多くない。新川崎・創造のもりを日本の量子インターネット発祥の地とすることを目指して欲しい。	量子イノベーションパークの実現に向けては、量子コンピューターだけではなく、量子インターネット通信等の量子技術についても重要な分野であると認識していることから、新川崎・創造のもりにおいて、研究開発を加速する良好な研究環境機能の強化や、国内外の優れた研究者、企業等の集積を目指してまいります。	C
31	構想では量子コンピューターがクローズアップされているが、量子技術には、他にも量子センシングや量子通信など、様々な展開があり、それらも受け入れる形の構想にしていきたい。QIHでも分野ごとに役割分担がされ、それぞれ世界一流の機関が拠点とされているが、一方で国としての責任もあり、実用化が見えやすい、または世界の皆が目指している研究開発課題が中心に据えられているように見受けられる。一方で、量子技術はまだ良くも悪くも萌芽的段階であり、例えば量子インターネットのような、今後の展開が未知数で、自由な考えと長期的な視点が重要と思われる研究課題も多くあると考える。	<p>基本的な考え方案「2-2 新川崎・創造のもりにおける量子イノベーションパーク実現に向けた視点」にあるとおり、量子イノベーションパークにおいては、量子コンピューターだけではなく、量子と古典の融合技術やソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ分野など関連産業の早期の社会実装化を意識した拠点の形成を目指しております。</p> <p>また、量子コンピューターの実用化に向けては、長い時間を要することと見込まれていることから、関連産業の社会実装化を目指しつつ、様々な分野、ステージの研究開発が行われるよう、発展性・持続性・柔軟性のある拠点形成に取り組んでまいります。</p>	B

(3) 機能導入に関すること (114件)

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	<p>カフェ、レストラン、コンビニなど地域の住民も身近に利用できる商業施設を充実させてほしい。</p> <p>(同趣旨他12件)</p>	<p>地域に開かれた憩いの空間形成に向けて、施設の低層部へのカフェや売店等の商業・アメニティ機能の導入など、地域のニーズを把握し、事業者等へのヒアリングを行いながら検討を進めてまいります。</p>	B
2	<p>多くの企業や人材が集まってくる仕掛け作りを行う。</p> <p>インキュベーション施設や入居している企業以外にも、創造のもり地区に関心ある国内外の企業や研究機関が、施設に入居せずともまずはメンバーとなり、イベント実施やイベント参加、マッチング、情報交換に参加できる仕組みが必要。</p> <p>現在は、企業同士、研究者同士のつながりが薄いですが、まずは互いを知り、信頼しあい、その次に研究やビジネスの話につながる。</p> <p>(同趣旨他9件)</p>	<p>オープンイノベーションを活性化する交流・コミュニティ機能の導入に向け、入居企業同士や来訪者が気軽に交流・連携できる交流するためのスペースの配置や、マッチングイベントやセミナー等の実施、交流を支援する体制の構築等、日常的な交流や異分野とのコラボレーションを創発する仕組みについて検討してまいります。</p>	C
3	<p>次世代の育成に言及している点も好感が持てる。多方面で人材不足が懸念されているが、次世代を担う子どもたちの興味関心を高め、ゆくゆくは分野を担う人材になりたいと思ってもらえるような機能は重要である。</p> <p>(同趣旨他5件)</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、最先端の企業、大学等の集積を活かして、次世代を担う子どもたちが科学技術への夢を育む場など、多世代の人材を育成する機能が重要であると考えております。「科学と遊ぶ幸せの一日」や「Quantum Summer Camp」、「かわさきジュニアベンチャースクール」等、現在実施している人材育成の取組の更なる充実や、研究成果を来訪者に分かりやすく紹介するショーケース機能、ラボでの研究活動の一部見える化など、子どもたちが量子コンピューターなど最先端の科学技術に身近に触れ、学び、興味・関心を抱く環境づくりに努めてまいります。</p>	D
4	<p>住宅街に囲まれ、周辺に学校があるという特徴を活かして、地域の子どもたちが日常的に最先端の科学技術に触れられる場所になると、次世代を担う人材の育成など将来に向けた展望が生まれる魅力ある拠点になると考えられる。科学者、研究者の実験室に子供たちが入れる日(イベント)があったりすると、とても面白い。</p> <p>(同趣旨他4件)</p>	<p>また、学校と連携した課外授業や施設見学会等についても、市内の学校との調</p>	D
5	<p>最先端技術に触れることができる環境を大いに活用して若年層はもとより、年少者や児童にもその機会を増やすことがで</p>		D

	<p>きると産業都市としての「川崎」のブランディングや地域の人材育成に繋がると思う。学校との協調による課外授業や施設見学会などを検討していただくと良いと思う。</p> <p>(同趣旨他 3 件)</p>	<p>整に向けて検討を進めてまいります。</p> <p>こうした活動を通じて、イノベーション推進都市としてのブランディングの向上や市民のシビックプライドの醸成につなげてまいります。</p>	
6	<p>子供達は宝なので、早くから量子技術に触れ合う機会を提供して欲しい。お台場の日本科学未来館と異なり、技術を持つテナントが数多く入居しているので、その技術力を背景に差別化して欲しい。</p> <p>(同趣旨他 2 件)</p>		D
7	<p>新川崎・創造のもり地区卒業企業の受け皿の検討について。当該地区でインキュベートされた企業においては、卒業後、過半が市外に転居している実態と聞いており、折角の成長した企業をみすみす他県・市に逃している状況はもったいない。是非、隣接地区に受け皿となる場所を検討頂ければと思う。隣接地区に受け皿があれば安心して企業の働く人たちも市内に転居しやすい。</p> <p>(同趣旨他 4 件)</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、大学のほか、大企業、中小・スタートアップ企業など、様々な研究段階、規模、成長段階の企業等を受け入れられるバリエーションに富んだ面積のラボの整備に向けて検討を進めてまいります。</p> <p>かわさき新産業創造センター (KBIC) で成長したスタートアップ企業が、市内に定着にできるよう、受け皿となるスペースについても検討してまいります。</p>	C
8	<p>多くの中小企業にとっては、技術力はあるが、新たな研究開発に時間やコストをかけづらい。「Made in KAWASAKI」で川崎市内の技術力を世界に発信する機会・チャンスがあれば活用したい企業も増えると思う。中小企業でも連携できる仕組みがあれば良いと思います。</p> <p>(同趣旨他 4 件)</p>	<p>量子と古典の融合技術やソフトウェア、通信、センシング、セキュリティ分野など関連産業の早期の社会実装化においては、市内の中小企業が有する高度な技術力との連携によって研究開発を加速させる可能性が高いと考えております。こうした市内企業等との更なる連携が図られるよう、交流・連携を生み出す仕組みやイベントの実施について検討してまいります。</p>	B

9	<p>先端のスクリーン、音響等で、国際会議等に対応できる大型の会議室があれば、国際的な研究者や事業者が集まり、さらに新川崎のステータスが向上し、様々なシナジーも期待できる。</p> <p>(同趣旨他4件)</p>	<p>オープンイノベーションを活性化する交流・コミュニティ機能の一つとして、研究成果等を発信するためのカンファレンス機能の導入について、現状のAIRBIC会議室の利用状況も踏まえながら、学会、セミナー、技術発表会、地域との交流等の多様な会議、情報発信への対応に配慮してまいります。</p>	C
10	<p>高度人材のグローバルな循環に、新川崎・創造のもりが入る形を目指して欲しい。このためには、宿泊可能な施設が必要である。また、AIRBICのカンファレンス設備は素晴らしいが、欧米でよくある、カンファレンス施設と宿泊施設が一体化したカンファレンスを実施しようとする、宿泊設備が足りない。入居企業や研究開発プロジェクトがこのような国際カンファレンスをAIRBICに誘致して開催できると、プログラムにラボツアーを盛り込めるので、取り組みを効果的に宣伝し、そのまま国際連携まで発展させられる。</p> <p>(同趣旨他4件)</p>	<p>国内外から優れた人材を惹きつける魅力ある拠点となるためには、企業、大学等の海外からの研究者等が研究に専念し、円滑に生活環境を構築するため、研究者やその家族の一定期間の滞在環境やサポート体制の充実を図ることが重要と考えておりますので、こうした環境の整備について検討してまいります。</p> <p>また、国際カンファレンスのAIRBICへの誘致につきましても、現状の利用状況等を踏まえながら、新たに導入する機能について、関係者へのヒアリング等を通じながら検討してまいります。</p>	C
11	<p>研究開発拠点の成功には、多岐にわたる要素が重要であるが、その中心にあるのは人材の確保と定着。一般に、優れた研究施設や設備の整備が人材確保の主要策と考えられがちだが、研究者が長期にわたり活動するためには、働きやすい環境の提供も同様に不可欠。研究者が単に職場としてではなく、生活の拠点として川崎市を選ぶような環境整備への更なる配慮をお願いしたい。特に、外国人研究者の居住環境についても、川崎市のできる範囲でサポートしてほしい。</p> <p>(同趣旨他4件)</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、高度人材を惹きつけ、国内外から優れた人材を誘引するため、魅力ある大型プロジェクトや中核企業等の立地誘導に加えて、企業・大学等に海外から来た研究者等が研究に専念し、円滑に生活環境を構築するため、研究者やその家族の一定期間の滞在環境、サポート環境の充実が必要であると考えておりますので、今後、具体的な機能や仕組み等について検討してまいります。</p>	B
12	<p>現在の創造のもりは、慶應大学やKBICなどの研究施設エリアと隣接する公園とが完全に区切られており、また慶應大学K2タウンキャンパスの周囲はフェンスな</p>	<p>地域に開かれた憩いの空間形成に向けて、さいわいふるさと公園との一体的な緑地の配置や、自然との調和に配慮した明るい安全な緑地環境の構築、回遊性</p>	D

	<p>どで囲まれていることから、外部からは近寄りやすい雰囲気を醸し出している。研究機関や企業としてのセキュリティはしっかりと確保しつつも、公園とつながる空間、バス通り側から線路側に敷地を横断できる遊歩道やカフェ、レストランなどの研究者だけでなく地域住民も利用できる魅力ある施設等を整備することにより、地域の方の利便性が向上するとともに、親しみを感じていただける空間を創設できる。</p> <p>(同趣旨他4件)</p>	<p>の向上に向けた動線の整備に向けて検討を進めてまいります。また、新川崎・創造のもりのエントランスにふさわしい賑わいと憩いの空間の形成や、緑地に面した低層部へのカフェや売店、オープンスペースの整備など地域に開かれた機能の配置についても検討してまいります。</p>	
13	<p>近隣住民にとってもふれあいができ、川崎の企業の事業内容がつながるようなイベントや取り組みがあると良い。</p> <p>(同趣旨他3件)</p>	<p>研究成果を来訪者に分かりやすく紹介するショーケース機能や、ラボの一部をガラス張りにするなど、研究活動に支障のない範囲で日常の活動の見える化を工夫し、市民や地域に開かれ、子どもたちの科学技術への夢を育む環境の整備に向けて検討を進めてまいります。</p>	C
14	<p>木々、花の環境を生かした緑豊かで、犬の散歩や、子供たちの散歩コースなど地域に開かれた施設になることを希望する。</p> <p>(同趣旨他3件)</p>	<p>地域に開かれた憩いの空間形成に向けて、さいわいふるさと公園と一体性があり、地域住民にも開放的で緑豊かな空間となるよう、自然との調和に配慮した明るい安全な緑地環境の構築、回遊性の向上に向けた動線の整備に取り組んでまいります。</p>	C
15	<p>人が集まるという要素を強めるものとして、食事できる空間や食間を過ごせるスペースもあるといい。かしこまって打合せするのではなく、気軽にフラッと立ち寄れるスペシャリティコーヒーを出すようなカフェなどがあれば雑談を通じて、新しいきっかけを作る時間を作ったりすることができる。</p> <p>(同趣旨他2件)</p>	<p>オープンイノベーションを活性化する交流・コミュニティ機能の導入に向けて、入居者や来訪者が自由に交流するラウンジやコミュニケーションスペースを施設の低層部に配置するなど、交流スペースの整備について検討してまいります。また、地域に開かれた空間の形成に向けて、緑地を楽しみ、憩いの場となるようなカフェ機能の導入についても検討を進めてまいります。</p>	C
16	<p>同じ川崎市内にある殿町キングスカイフロントでは、国立医薬品食品衛生研究所のような中核となる研究機関が立地したことによって、たくさんのライフサイエン</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、国内外の優れた研究者を惹きつけ、集積させる、魅</p>	B

	<p>ス分野の企業や研究機関が進出したと聞いている。新川崎・創造のもりでも、慶應義塾大学のタウンキャンパスに加えて、量子やAI等の分野で、影響力のある研究機関を誘致できれば、たくさんの研究者が注目するような、特別な拠点となるのではないか。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>	<p>力ある大型プロジェクトや中核企業等の立地誘導について、慶應義塾と連携しながら取組を推進してまいります。</p>	
17	<p>「国内外の優れた研究者を惹きつけ、集積させる、魅力ある大型プロジェクトや中核企業等の立地誘導」これに尽きる。魅力ある研究に、人も企業も集まる。慶應義塾大学等には魅力ある研究・社会実装化におけるプロジェクトがあると考えている。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>		B
18	<p>インキュベーションやオープンイノベーションの支援機能を発揮できるような専門性のある企業が管理・運営を行うことも求められる。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>	<p>インキュベーションやオープンイノベーションにおいては、企業等の交流連携を活性化するノウハウに加えて、研究開発に対する知見や、財務、知財、経営戦略等ビジネスの視点においても、高い専門性と豊富な経験が求められますので、こうした管理・運営手法への民間活力の導入を含め、事業者へのヒアリング等を通じて、効果的な仕組みの構築について検討してまいります。</p>	C
19	<p>電子顕微鏡 (SEM) や ICP 発光分析装置 (ICP) など精密な分析装置を必要な際に使用させてもらえるとありがたい。オンラインで予約しやすいとさらにありがたい。すでにそのようなシステムがあるのであれば PR や見学会などして頂きたい。</p> <p>(同趣旨他1件)</p>	<p>NANOBIIC において、4 大学ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアムとの連携協力による先端研究機器等の企業への利用開放などを通じて、企業や地元産業界との連携、技術の高度化の取組を進めております。</p> <p>研究機器・装置等の共同利用環境の充実については、今後、企業、大学等のニーズをヒアリングしながら検討してまいります。</p>	C
20	<p>K² タウンキャンパスの研究者の技術を実際にキャンパスに取り入れることができると、まさに最先端の施設になるのでは。または見学者用の展示ルームがあると</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、次代を担う子どもたちが科学技術への夢を育む場</p>	C

	<p>良い。 (同趣旨他 1 件)</p>	<p>などの、多世代の人材を育成する機能が重要と考えており、導入に向けては、研究成果を来訪者に分かりやすく紹介するショーケース機能や、ラボの一部をガラス張りにするなど、研究活動に支障のない範囲で日常の研究活動の見える化により、科学を身近に体験できる場づくりについて検討してまいります。</p>	
21	<p>川崎市が将来にわたり「世界に伍する研究開発拠点」を不動のものとするためには、短期的な人材の確保だけでなく、長期的な人材獲得が重要。彼らが「ここでなら子供を育てたい」と思えるような街づくりを進めていく必要がある。 (同趣旨他 1 件)</p>	<p>新川崎・創造のもりが世界に伍する研究開発拠点として、国内外から優れた研究者・技術者を集積させるためには、魅力ある研究開発プロジェクトの誘致と併せて、研究者が研究に専念できるよう、研究者とその家族が安心して滞在できる環境の整備が求められておりますので、今後、検討を進めてまいります。 また、最先端の科学技術に触れ、学ぶ機会が提供される、子どもたちの夢を育む環境を整備し、次世代の科学技術をリードする人材育成機能についても検討してまいります。</p>	C
22	<p>イノベーション（国内外）の創出・企業成長支援においては様々な業種と交わり創出することが非常に重要な事なので IT 系はじめ様々な企業が入居可能であってほしい。施設内連携の加速。</p>	<p>基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、先端企業・大学等が集積し、研究開発を加速する良好な研究環境の構築に向けて、大企業や中小企業、スタートアップ、大学など多様な主体が集い、連携しやすい研究スペースを整備するとともに、オープンイノベーションを活性化する交流・コミュニティ機能の導入に向けて検討してまいります。</p>	C
23	<p>低層階は、耐荷重の配慮が必要な企業が使用し、中・高層階は、IT 系など搬入物の総重量が少ない企業が使用することで、建築コストを抑えられる可能性がある。</p>	<p>今後、基本計画の策定に向けて、必要機能の誘導・導入等に必要な施設の配置プラン・適正規模を整理するとともに、その事業手法についても、本市の財政負担や、施設に入居する大学・企業等の負担の軽減に最大限の効果が発揮される仕組みの構築に向けて、民間活用（川崎</p>	C

		版 PPP) 推進方針に基づき検討してまいります。	
24	研究内容にもよりますが、危険物の取扱いや排水、受電容量等、規制やインフラ関連の柔軟性を求めるニーズも多いため、地区計画の変更と合わせて、柔軟性を持った運用を確保できる拠点とすることで、幅広い研究領域の事業者を呼び込める可能性があると考えます。	給排水や換気・電気等の研究設備の稼働に関わる事業インフラについては、使用用途によって、求められる機能が様々であることから、多様な研究・プロジェクトに対応できる柔軟性、可変性のあるラボの整備と、安定的で信頼性の高い研究・事業インフラの確保に向けて検討してまいります。	C
25	KBIC の鍵は、セキュアにしようとした結果、むしろインセキュアになってしまっている。一つの物理鍵しかなく、必ずオートロックがかかる仕組みは、安全性と同等にセキュリティの重要要素として扱われる「可用性」を大きく損なっている。新しい建物では、キーボックス型ではなく、カードキーで直接各部屋に入るタイプの鍵などを採用して欲しい。侵入者検知を両立するタイプのソリューションもあるはずである。	最先端の研究開発拠点の整備においては、経済安全保障に配慮した研究を支えるセキュリティ機能を導入することは必須であると考えておりますので、セキュリティ対策を念頭においた研究スペースと交流スペース等の配置・導線の設定など、研究活動の利便性と両立が図られるよう、研究者へのヒアリングや国内外の先進事例調査等を通じて、適切なセキュリティ対策について、検討してまいります。	C
26	神奈川県や隣接自治体との連携も期待される。新川崎地区の課題を新川崎だけで解決するのではなく、全体としてオープンイノベーションの姿勢が肝要。	本市の特色である、多様な企業・大学・研究機関等の集積や、他都市との広域連携による、企業間のネットワークを活かし、多様な主体を呼び込むことで、産学連携や産産連携等によるオープンイノベーションを活性化してまいります。	C
27	ベンチャー企業だけでなく、ベンチャーキャピタル等投資家の誘致がなされると良い。さらには、企業の CVC 部門や新規事業部門の誘致を通して、入居ベンチャー企業との連携が促進されると良い。	量子技術をはじめとする最先端技術分野の早期の社会実装に向けた研究開発の推進や、スタートアップ企業等の新事業・新ビジネスの創出の後押しには、企業の成長過程に応じた資金調達が必要であることから、ベンチャーキャピタル等のスタートアップを支援するプレイヤーとの連携・交流の可能性についても検討してまいります。	C
28	研究者や開発企業と試作支援ができる製造業との距離を縮めるためのコーディネーターが必要。研究とそれを達成するた	技術に精通し、新川崎・創造のもり地区や市内に立地する企業のニーズや強みを把握したコーディネーターの配置	C

	めに実際のカタチにする技術を相互に情報交換が気さくにできると良い。	など、研究者と市内企業における試作開発プロジェクト等の産学連携の取組の推進に向けたコーディネート機能の充実について、新川崎地区ネットワーク協議会や KBIC 指定管理者等とも連携しながら、検討してまいります。	
29	新産業創出のためには産業支援のためのエコシステムの創出が不可欠であると考えており、その中でも行政の支援が重要な役割を果たす。すでに質と量の観点から新設・移転する事業者に対して手厚い補助をしていると認識しているが、その流れをさらに加速するためにもより一層の補助施策について検討いただきたい。	基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、国内外の企業、研究者を呼びこむ先端的で魅力ある研究開発プロジェクトや中核となる企業等の立地誘導に取り組んでまいります。	C
30	世界トップレベルの外国人研究者がこのエリアに惹きつけられ根付くようになるには、川崎市がその家族にとっても魅力的なまちとの評価を得るために国際ナショナルスクールの誘致を積極的に進めていただくことも必要。	基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、国内外から優れた人材の誘致に向けて、企業、大学等の海外からの研究者等が研究に専念し、円滑に生活環境を構築するため、研究者やその家族の一定期間の滞在環境や、子女の教育・保育環境、医療も含めたサポート環境等について検討を進めてまいります。	C
31	遅くまでやっている保育園や認可されていない治療をいち早く体験できる病院もしくは最先端技術を用いた検査病院(人間ドックみたいもの)があれば市民は活用するのではないかな？		C
32	海外の高度人材・企業誘致の観点からも、規制緩和、平易な日本語の使用、オンライン化など便利なツールを積極的に活用してほしい。	企業・大学等の海外からの研究者等が研究に専念し、円滑に生活環境を構築できるよう、エリア全体のサインの多言語等、誰もがアクセスしやすく、利用しやすい環境の整備や、デジタル技術の活用、安全で快適な通信環境の整備など、国内外の様々な人との繋がりを生み出し、柔軟な働き方・研究活動に対応できる環境の整備について、検討してまいります。	C
33	滞在環境や商業施設は近隣の民間事業者に影響がでない配慮が必要だと考える。	高度人材を惹きつける滞在・生活サポート環境や、地域に開かれた憩いの空間を実現するための商業機能等については、新川崎地区の企業・大学、地域住民	C

		のニーズを把握しながら、近隣のエリアにおいて不足している機能を考慮し、導入に向けて検討してまいります。	
34	集積する大学、企業等と地域が連携した教育機会が創出され、科学技術を身近に感じ、学ぶことができる教育環境の形成に加え、産業人材の育成では地域企業の従業員を受入れる研修制度などがあつたらありがたい。	新川崎・創造のもりにおいては、現在、4大学ナノ・マイクロファブ리케이션コンソーシアムによる技術講習会等を実施していますが、量子技術分野等、研究開発の実践の場を活用した産業人材の育成に向けて、企業等のニーズを踏まえ、慶應義塾大学等と連携した取組についても検討してまいります。	C
35	体験会や催し物等のソフト面での運営を、慶応の学生さんを中心とした若手に担わせることで、この地域の子どもたちと大学生の間の交流が生まれ、「研究者になりたい」という子どもたちから「ああいうお兄さん、お姉さんになりたい」という憧れと、ロールモデルとしての役割が期待できる。	「科学と遊ぶ幸せの一日」においては、慶應義塾大学と共催し、「Quantum Summer Camp」においては、東京大学等と共催し、大学院生等が運営のサポート役として参画しながら、参加者と積極的にコミュニケーションを取り、ロールモデルとしての役割を担っていただいています。今後、こうしたイベントの更なる充実や、市民・地域に開かれ、子どもたちの科学技術への夢を育む環境の整備に向けて、取組を進めてまいります。	C
36	シード期の企画を持った学生へのトレーニングプログラム(ブートキャンプやピッチイベント含む)などアカデミアと入居機関の豊富な経験を活かした企画を開催してほしい。	大学での研究成果を活かした起業希望者やシード・アーリー期の研究開発型スタートアップの成長支援について、KBIC 指定管理者や起業家支援拠点 K-NIC 等との連携による成長支援プログラムやセミナーの実施等、起業支援、成長支援の取組について検討してまいります。	C
37	在宅勤務の方も多いので、気分転換に仕事ができるような場所としても使えるとよい。	地域に開かれた憩いの空間形成に向けて、隣接する公園と一体性があり、地域住民にも開放的で緑豊かな空間やカフェなど、緑地空間を楽しみ、憩いの場となる機能の導入に向けて取組を進めてまいります。具体的な機能については、今後、地域のニーズを把握し、事業者等へのヒアリングを行いながら検討	C
38	市民が使えるフリースペースや運動施設		C

	などがあると嬉しい。	を進めてまいります。	
39	公園機能をもっと充実させて欲しい。小さい子どもだけでなく、中高生や大人も遊べるバスケットゴールやスケボーパーク、この地区は市民プールが遠いので、プールができると良い。		C
40	この辺りは人口密集地なので、防災の拠点としての機能もお願いしたい。	新川崎・創造のもり内の各施設は、研究開発施設であるため、緊急時の安全性やセキュリティに配慮が必要であり、不特定多数の自由な出入りが難しいことから、災害時には、近接する日吉小学校へ誘導することとしています。 機能更新においては、防災の視点からの機能導入についても関係者と協議しながら検討してまいります。	C
41	創造のもりを回遊するスタンプラリーなどを実施してほしい。	「科学とあそぶ幸せな一日」など、小中学生向けの科学体験イベントにおいて、参加者の満足度を高めながら、新川崎・創造のもりについて理解を深めていただく仕掛け等について検討してまいります。	C

(4) 土地利用の方向性に関すること (36件)

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	JR 新川崎駅からのアクセスを改善するため、K ² タウンキャンパスの更新に合わせて、新川崎駅の南側に新たな改札口と創造のもり方面につながる跨線橋を設けると利便性が格段に高まり拠点価値向上につながる。 (同趣旨他8件)	JR 新川崎駅利用者の更なる安全性の確保や利便性の向上を図るため、駅南側への改札口の新設や駅施設の改良に向けては、鉄道事業者に対してこれまでも継続して要望しているところではございますが、新川崎・創造のもりの機能更新に向けて、引き続き要望するとともに、新川崎・創造のもりへの交通アクセスの改善に向けてソフト対策も含めて検討してまいります。	C
2	下記の理由から、新川崎・創造のもり地区の隣に相鉄線の新駅設置の検討が可能ではないか。 ・相鉄線の武蔵小杉駅ー羽沢横浜国大駅間の距離が長いこと。 ・当該地区の隣にはJR貨物の未利用地が広がっていること。		C
3	新川崎駅や鹿島田駅からの自動運転シャトルバスやシェアサイクルの導入によるアクセス向上を期待する。 (同趣旨他3件)	新川崎・創造のもりの機能更新の検討にあたっては、国内外から優れた人材を呼び込むため、誰もがアクセスしやすく、利用しやすい環境の整備に向けて、就業者、来訪者等の交通アクセス向上についても検討してまいります。	C
4	パーソナルモビリティで施設間の移動ができるようになるとよい。専用道を作って安全性を担保してもよいのでは。	また、通勤方法については、新川崎・創造のもりに立地する企業等各社	C
5	電気自動車の充電スペースを用意して、電気自動車による通勤を可としてよいのでは。電気自動車に限定することで、環境に配慮できると思う。	において判断しております。	C
6	KBICも竣工から21年経っており、これから建物の維持修繕、設備の更新などで多額の費用が掛かる為、この機会に合わせて更新(定期借地方式、PFIなどで)しても良いのでは。 (同趣旨2件)	基本的な考え方案「9-1 機能更新の実現に向けた具体的な取組(予定)」にあるとおり、必要機能の誘導・導入や、地域に開かれた空間の形成等に必要な施設の配置プラン・適正規模の整理を行ってまいります。	C
7	施設の建替については賛成。K ² ・KBIC・NANOBIC・AIRBICそれぞれの距離感が近くなるような建物の設計ができると、施設間の移動がより活発になるのではないかと。		C
8	K ² やKBIC、NANOBICがAIRBIC		C

	<p>に比べて敷地に対する延床面積が少ないように思う。これらの施設を集約化することで、実証実験のフィールド等ができる余地があるのでは。</p>		
9	<p>K² タウンキャンパスの建替期間中の慶應義塾大学の研究室には一時移転先が必要だが、KBIC は現在、ほぼ満室のため、もしそこに慶應義塾大学の研究室を移転させるとなると、必然的に有望なスタートアップを受け入れる余地がなくなり、好循環を停滞させることは避けられない。</p> <p>そのため、研究室の一時移転先は新川崎・創造のもり内だけで考えるのではなく、市内全域で検討すべきだと思う。</p> <p>その一つの候補が、2027 年にまちびらきを予定している南渡田だと思う。新設される南渡田のラボであればスペースは十分あり、また、南渡田では川崎駅との間に BRT を運行させる計画もあるようなので、まちびらきの頃には交通の便も大幅に解消され、慶應義塾大学の研究室の一時移転先としては有望だと考える。</p> <p>(同趣旨他 1 件)</p>	<p>新川崎・創造のもりの機能更新において施設整備を行った場合の既存の運営スキームや研究室の取扱いについては、慶應義塾等の関係者と協議を行い、役割分担を明確にし、着実な事業推進に向けて検討・調整を進めてまいります。</p>	C
10	<p>開発エリアについては、K² タウンキャンパスの再開発のみならず、竣工から 21 年が経過した KBIC 本館の建て替えを含め、広義の機能更新を視野に入れながら議論を進めるべきと思う。</p>	<p>基本的な考え方案では、量子イノベーションパークの推進と K² タウンキャンパスの機能更新を通じた、新川崎・創造のもり全体の価値向上を目指した機能更新を推進することを示すものでございますが、市民にその趣旨がより分かりやすく伝わるよう、御意見を踏まえ、基本的な考え方案「5 新川崎・創造のもりの機能更新の検討方針」に、検討エリアは、K² タウンキャンパスを中心に創造のもり地区全体とし、長期的視点で KBIC、NANOBIIC、AIRBIC 等も含めたエリア全体での価値向上を目指したプランを検討することを追記いたしました。</p>	A
11	<p>既存施設 (K²、KBIC、NANOBIIC、</p>	<p>K² タウンキャンパスにおいては、平</p>	C

	AIRBIC) の経年に伴う設備の劣化や、生産性・人材流動の低下は今後懸念される問題であり、早期の対策が必要であると考えられる。そのためにも本提案のスピーディな実施が強く望まれる。	成 12(2000)年の開設当初から次々と成果が生まれる一方で、開設から 20 年以上が経過し、研究環境・インフラの老朽化、拡張性や交流促進機能の不足等の課題が顕在化しています。また、量子技術等の先端技術分野については、国際的な研究開発競争の中、スピードが極めて重要な技術分野であることから、新川崎・創造のもりの機能更新においても、慶應義塾や関係機関と協議しながら、スピード感を持って取り組んでまいります。	
12	新川崎・創造のもりは研究施設と自然（里山や公園等）が整備された場であり、住民との関係も良好であると認識している。自然環境等、現在の景観を基本的に残す形での高層化を行うべきである。	新川崎・創造のもりの機能更新にあたっては、さいわいふるさと公園との一体的な緑地の配置や、自然との調和に配慮した明るい安全な緑地環境を構築し、地域住民の方にとっても開放的で緑豊かな空間形成を目指しております。	C
13	さいわいふるさと公園のビオトープは本当に必要なのか、近隣住民の意見も聞いて判断するのが良いと思う。	地域で活動する団体や近隣住民との意見交換を行いながら検討を進めてまいります。	C
14	特に夏場の日照対策も考えた植栽計画で、木陰の中を歩けるのが良い。	緑豊かな緑地や散策路を設け、地域に開かれた自然と調和した憩いの空間形成に向けて取り組んでまいります。	C
15	レジデンシャルスクエア前の建物は、眺望保持のため、あまり高層にならないとありがたい。	必要機能の誘導・導入や、地域に開かれた空間の形成等に必要な施設の配置プラン・適正規模の整理にあたっては、	C
16	住宅地の中の施設になるため、近隣住民への配慮は最大限行うべきだが、地区計画上高さ 4 5 m まで建てることのできるの、なるべく延床面積の大きなものを建設してほしい。	周辺市街地に配慮しながら検討を行い、その実現に必要な都市計画等の変更について検討してまいります。	C
17	良い意味で長期にわたって研究活動が行える環境形成が望まれる。そのためには、研究者がストレスなく働き、生活において不便を感じないような都市開発に力を入れるべき。例えば、保育施設の拡充、医療施設やショッピング施設の整備などが挙げられる。キングスカイフロント、マ	基本的な考え方案「4 新川崎・創造のもりの機能更新において必要と考えられる機能」にあるとおり、良好な研究環境に加え、カフェなど緑地空間を楽しみ、憩いの場となる空間や、国内外から優れた人材を呼び込む拠点とするため、企業、大学等の研究者等が研究に専念で	C

	イコンシティ、かながわサイエンスパークといった施設の課題を見るに、生活の利便性をさらに高めることで、市のさらなる発展に資するものと確信している。	きる生活環境が重要であると考えております。こうした機能の導入に向けて、検討してまいります。	
18	機能更新にあたっては、民間企業等のサウンディングを踏まえて、民間の参入意欲を高める用途制限の緩和を希望する。	新川崎・創造のもりの機能更新においては、良好な研究開発環境や強固なセキュリティ環境などを高い水準で求められることから、民間の柔軟な発想や豊富なノウハウの有効な活用が重要であると考えております。今後、民間活用に向けて、サウンディング調査等を通じて、民間の参画を促進する具体的な条件等について精査してまいります。	B
19	K ² の施設整備においても民間活力の活用は大事。		B
20	計画地のポテンシャルは、極めて高いものがあるが、特にK ² タウンキャンパスは、暫定利用感が強く、敷地を十分に活かし切れているとは言えない。また、周辺住宅との分離がはっきりしすぎており、もう少し周辺との融合が必要な場所と思われる。	K ² タウンキャンパスは平成12(2000)年の開設当初、暫定的な利用計画のもと建設されていることから、建物については容積率等を十分に活かしきれていない状況ですので、必要機能の誘導・導入に向けて必要な施設の配置プラン・適正規模の整理を行ってまいります。 また、隣接する公園と一体性があり、開放的で緑豊かな地域に開かれた空間の形成に向けて検討してまいります。	B
21	さいわいふるさと公園とK ² タウンキャンパスの緑地に一体感が無い(途中で狭くなっている)ので、一体感を出してほしい。また、公園が一段高い位置にあるので、開かれた雰囲気が無いので、そこを改善してほしい。	新川崎・創造のもりの機能更新にあたっては、隣接するさいわいふるさと公園との一体的な緑地の配置や、自然との調和に配慮した明るい安全な緑地環境の構築、回遊性の向上につながる動線の整備に向けて検討してまいります。	D
22	近隣駐車場案内や誘導マップなどの情報掲載をもう少し充実してほしい。	新川崎・創造のもりの機能更新にあたっては、誰もがアクセスしやすく、利用しやすい環境の整備に向けて、エリア全体のサインの多言語化、ユニバーサルデザインの視点でのエリアごとの配色、サイン計画、各種案内などについて検討してまいります。	D

(5) 事業手法に関すること (3件)

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	<p>事業スキームについては、定借方式を基本としつつ、一部売却可能性を残すなど、柔軟な発想も必要。</p>	<p>基本的な考え方案「8 機能更新を実現する手法」にあるとおり、新川崎・創造のもりの機能更新においては、民間の柔軟な発想や豊富なノウハウが発揮され、本市の財政負担が軽減される事業手法の導入が重要と考えております。</p> <p>今後、基本計画の策定において、最も適した手法の導入に向けてサウンディング調査等を通じて検討してまいります。</p>	D
2	<p>現在の K² タウンキャンパスの運営スキームの整理(川崎市まちづくり公社との調整)が必要と感じる。</p>	<p>現在の K² タウンキャンパスは、本市が所有する土地に事業用定借地権を設定し、(一財)川崎市まちづくり公社に貸し付けを行っています。基本的な考え方案「9 機能更新の実現に向けた具体的な取組(予定)」にあるとおり、基本計画の策定に向けて、現在の K² タウンキャンパスの運営スキームについて、川崎市まちづくり公社との調整・整理を行い、今後の詳細な事業スケジュールを検討してまいります。</p>	D
3	<p>学術研究と産業界の研究開発をつなぎ、革新的なイノベーション創出を実施する上で、施設の整備・運営については官民地域パートナーシップなどの新たな産学連携スキームも検討すべき。</p>	<p>新川崎・創造のもりの機能更新にあたっては、川崎市が目指す量子イノベーションパークの実現と、慶應義塾が目指す世界に伍する研究開発拠点の形成に向けて、多様な主体の参画と連携が求められますので、良好な研究開発環境等の構築・運営について、最大限効果が発揮できる事業スキームについて、引き続き検討してまいります。</p>	C

(6) その他 (4件)

No.	意見の要旨	本市の考え方	区分
1	<p>全体的にビジーなスライドで提案の全体像を把握するのに時間を要する。スライドの枚数が増えても良いので、ゆとりをもって記載されるほうが、市民が内容を理解しやすいものになる。</p>	<p>市民の方が理解しやすいものとなるよう、図やイラスト等の活用や平易な言葉を用いるなど、見やすく分かりやすい資料作成に引き続き努めてまいります。</p>	E
2	<p>量子コンピューターは川崎市にしかない施設なので、ふるさと納税の返礼品として見学ツアーを開催すると注目を集めるのでは。</p>	<p>新川崎・創造のもりにおいて稼働する量子コンピューターの実機に関しては、IBM が設置し、東京大学が占有使用权を有して企業、大学、研究機関等と量子コンピューターの利活用に関する共同研究を行うものでありますことから、研究活動やセキュリティ対策への十分な配慮を図りつつ、新川崎・創造のもりの周知に繋がるような PR 方法について、関係者と引き続き協議・検討してまいります。</p>	E
3	<p>現在、KBIC では、可燃ゴミのみ無料回収で、それ以外は産業廃棄物として入居者が個別に産廃業者と契約し収集することになっているが、ごみの廃棄の手続きが煩雑であるため、簡略化していただければ、研究に集中できるのでありがたい。</p>	<p>KBIC 入居者の産業廃棄物に関しては、法令に基づく排出者事業者責任を踏まえ、直接、産業廃棄物の処理事業者と契約していただき、適切に廃棄していただくこととしております。</p>	E
4	<p>宇宙や海底についての研究開発をするには、量子コンピューターが使用できる環境が必要となる。2050 年には世界的に気温上昇が避けられませんので、ここ川崎市から世界に発信できたらよいと思う。</p>	<p>量子コンピューターは将来、材料開発、創薬、金融、AI など幅広い分野で活用され、革新的な成果を生み出すことが期待されております。本市からこうした成果が創出されるよう、産学官の多様なプレイヤーがそれぞれの強みを活かして連携を図りながら研究開発が行える良好な研究環境の構築等に取り組んでまいります。</p>	E

6 案からの変更点

変更内容【変更後】（※下線は変更箇所）	変更前
<p>5 新川崎・創造のもりの機能更新の検討方針・検討体制</p> <p>5-1 検討方針</p> <p>新川崎・創造のもりの機能更新に向けて、次の方針に基づき、検討等を行います。</p> <p>○将来にわたって発展性・持続性・拡張性を確保する視点での機能の検討等を行い、機能導入にあたっては、施設整備も含め、これまでの新川崎・創造のもり事業における民間活用の事例なども踏まえ、適切な手法を幅広く検討します。</p> <p><u>○検討エリアは、K2 タウンキャンパスを中心に創造のもり地区全体とし、長期的視点でKBIC、NANOBIC、AIRBIC 等も含めたエリア全体での価値向上を目指したプランを検討します。</u></p> <p>○経済安全保障の観点から、高度なセキュリティを確保しつつ、企業・大学等の研究者間、地域の市民の方との交流が確保されるプランを検討します。</p> <p>○新川崎・創造のもりに集う研究者や地域の住民が、憩い、語り、交流することを目指し、研究機能と緑地・公園機能との一体性、回遊性を目指したプランを検討します。</p> <p>○上記の検討に基づくプラン等を実現するため、必要な手続等を適切かつ迅速に実施します。</p>	<p>5 新川崎・創造のもりの機能更新の検討方針・検討体制</p> <p>5-1 検討方針</p> <p>新川崎・創造のもりの機能更新に向けて、次の方針に基づき、検討等を行います。</p> <p>○将来にわたって発展性・持続性・拡張性を確保する視点での機能の検討等を行い、機能導入にあたっては、施設整備も含め、これまでの新川崎・創造のもり事業における民間活用の事例なども踏まえ、適切な手法を幅広く検討します。</p> <p>○経済安全保障の観点から、高度なセキュリティを確保しつつ、企業・大学等の研究者間、地域の市民の方との交流が確保されるプランを検討します。</p> <p>○新川崎・創造のもりに集う研究者や地域の住民が、憩い、語り、交流することを目指し、研究機能と緑地・公園機能との一体性、回遊性を目指したプランを検討します。</p> <p>○上記の検討に基づくプラン等を実現するため、必要な手続等を適切かつ迅速に実施します。</p>

その他、用語・用字の修正など、所要の整備を行っています。